

授業科目名 ＜英訳＞		医学コミュニケーション・基礎 Medical Communication: Introduction			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 岩隈 美穂				
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2016・ 前期前半	曜時限	火5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>コースの概要 本コースは医学研究科社会健康医学系専攻のMPHコア科目の一つです。 医学コミュニケーションの基礎講座として、さまざまなバックグラウンド、専門、興味を持つ学生への対応を目的とした基本的事項を網羅し理解、検討を行う。</p>											
[到達目標]											
<p>学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） 医学コミュニケーションの基本的枠組み、コンセプトを理解する。 社会学・コミュニケーション学を手掛かりに、社会医学について理解する。</p>											
[授業計画と内容]											
<p>1 4/12 イントロダクション 2 4/19 医療と社会とコミュニケーション 1 3 4/26 医療と社会とコミュニケーション 2 4 5/10 コミュニケーション学の基本の「き」： 非言語 x 言語 x チャネル 5 5/1 医療と時間と空間： 続・非言語コミュニケーション 6 5/24 外からの風を病室に：京大病院にこトマの活動（高谷恵美氏 にこにこトマト代表） 7 5/31 講義まとめ</p>											
[履修要件]											
選択必修											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
<p>平常点（授業参加度も含む） 50% レポート 50% 「一言宣言」 5% + タイトル 10% + 最終版 35%</p>											
[教科書]											
ハンドアウトを配布する											
[参考書等]											
(参考書)											
----- 医学コミュニケーション・基礎(2)へ続く↓↓↓↓											

医学コミュニケーション・基礎(2)

[授業外学習（予習・復習）等]

コミュニケーション学の中で興味のあるリーディングを読むことを推奨する。

(その他（オフィスアワー等）)

「授業参加・貢献」を重視しているため、自発的発言を求める。
医療・医学への社会科学的アプローチに興味のある学生向け。
障害があり、授業あるいは課題への取り組みに配慮（Accommodation）が必要な場合、早めに相談に来ること。

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。